

# グラフdeセンサス2015

グラフ

で

見て学ぶ

農林業センサス

## 第4回 農業従事者

2016年（平成28年）  
9月発行  
東海農政局統計部

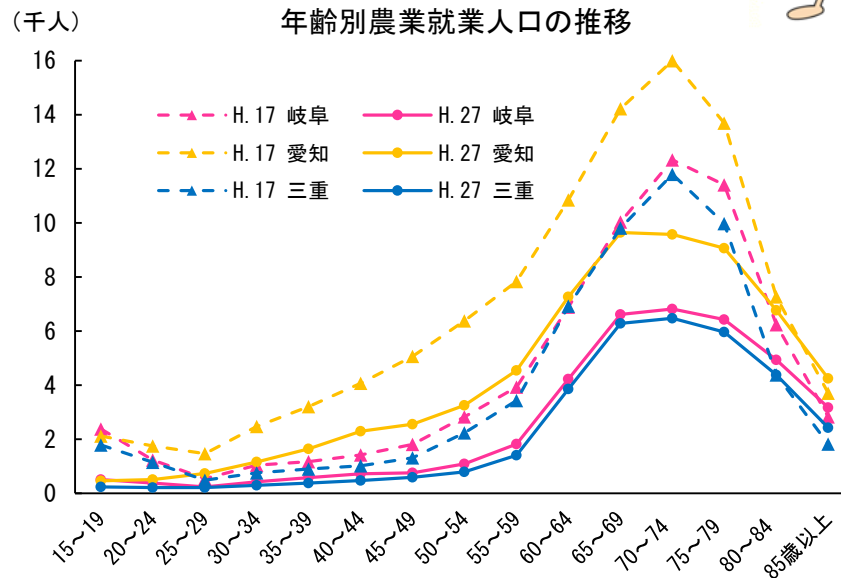
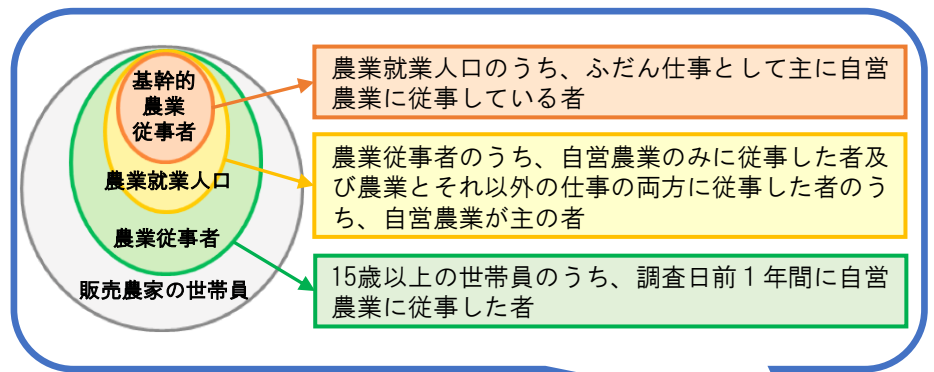
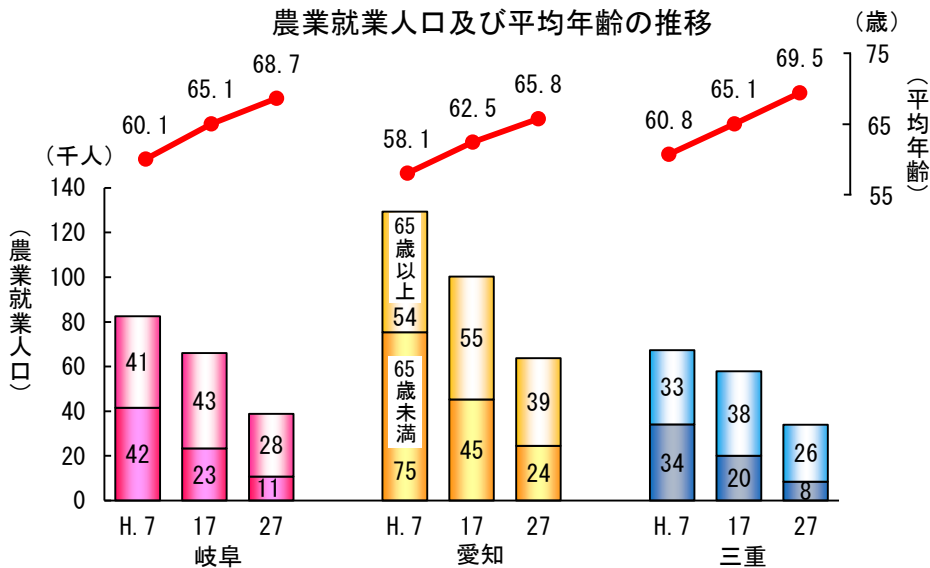
### 農業就業人口の推移をみると…

#### 農業就業人口は20年前に比べ半減し、高齢化が一層進む

東海3県における農業就業人口を平成7年からの20年間でみると、岐阜県は4万3,741人（53.0%）減少し3万8,736人、愛知県は6万5,690人（50.8%）減少し6万3,736人、三重県は3万3,298人（49.5%）減少し3万4,002人となり、3県ともに半減しています。

平均年齢は、岐阜県で8.6歳、愛知県で7.7歳、三重県で8.7歳上昇し、高齢化が進んでいます。

また、年齢別の農業就業人口を平成17年と比べてみると、85歳以上の階層を除きすべての階層で減少しており、特に70～74歳の減少幅が大きくなっています。



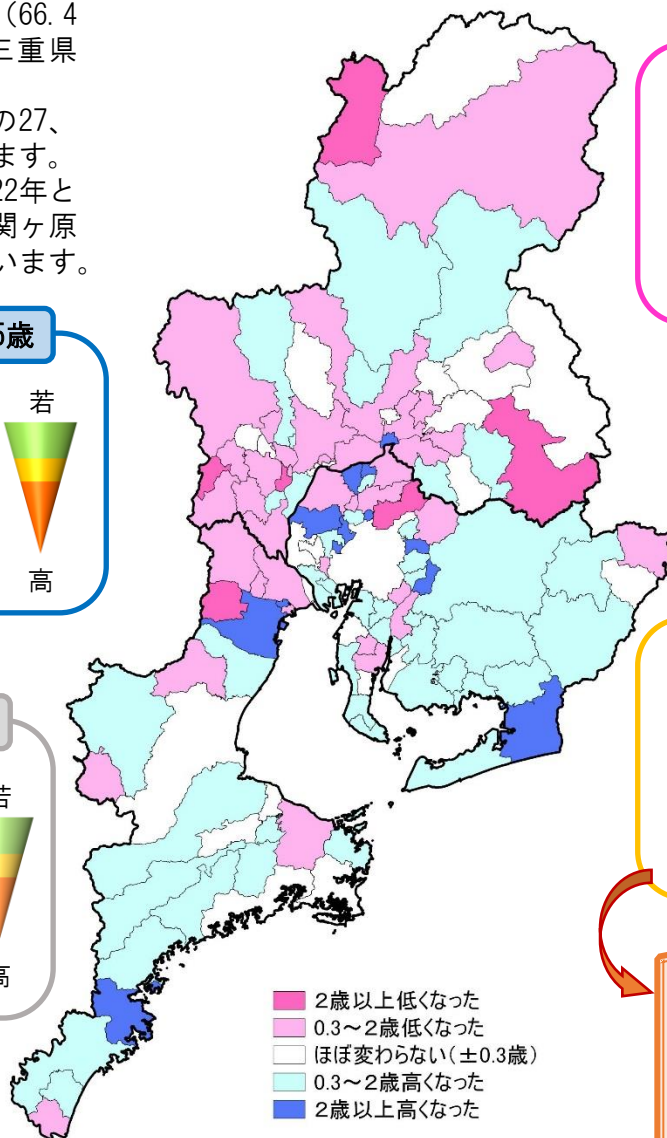
# 農業就業人口の平均年齢をみると…

## 県全体では高齢化だが、若返っている市町村もある

農業就業人口の平均年齢をみると、愛知県は65.8歳と全国（66.4歳）と比べ低くなっていますが、岐阜県（68.7歳）及び三重県（69.5歳）は高くなっています。

東海3県125市町村別に平成22年と比べてみると、岐阜県の27、愛知県の14、三重県の11市町村では平均年齢が低くなっています。そのうち、一番年齢が低くなった市町村は三重県菟野町で、22年と比べ2.9歳低くなっており、そのほかでは、岐阜県白川村、関ヶ原町、恵那市、安八町、愛知県春日井市で2歳以上低くなっています。

市町村別農業就業人口の平均年齢の推移  
(平成27年－平成22年)



### 岐阜県 平均 68.7歳

高山市	64.1歳
海津市	65.2歳
神戸町	66.0歳
：	：
川辺町	72.7歳
八百津町	73.4歳
七宗町	73.7歳



### 三重県 平均 69.5歳

木曾岬町	65.2歳
御浜町	67.3歳
菟野町	67.4歳
：	：
紀北町	71.8歳
尾鷲市	72.0歳
鳥羽市	72.2歳



### 愛知県 平均 65.8歳

田原市	59.4歳
碧南市	62.3歳
蒲郡市	63.1歳
：	：
扶桑町	71.1歳
東栄町	72.3歳
長久手市	72.4歳



### 全国 平均 66.4歳

1位	北海道	57.2歳
：	：	：
17位	愛知県	65.8歳
35位	岐阜県	68.7歳
41位	三重県	69.5歳
：	：	：
47位	島根県	70.6歳



## ランキング

農業就業人口に占める  
65歳未満の割合が高い  
市町村(平成27年)



順位	市町村	65歳未満の割合(%)
1位	田原市	58.9
2位	蒲郡市	46.8
3位	碧南市	46.7
4位	豊橋市	46.6
5位	半田市	42.8
6位	木曾岬町	42.6
6位	阿久比町	42.6
8位	愛西市	42.5
9位	海津市	41.5
10位	東海市	40.7

## トピック

平成28年7月13日に公表された総務省の人口動態調査によると、長久手市は日本一若い街となっています。  
(日本経済新聞)  
【平均年齢37.7歳(2010年国勢調査結果)】

- 2歳以上低くなった
- 0.3～2歳低くなった
- ほぼ変わらない(±0.3歳)
- 0.3～2歳高くなった
- 2歳以上高くなった

# 基幹的農業従事者数の推移をみると…

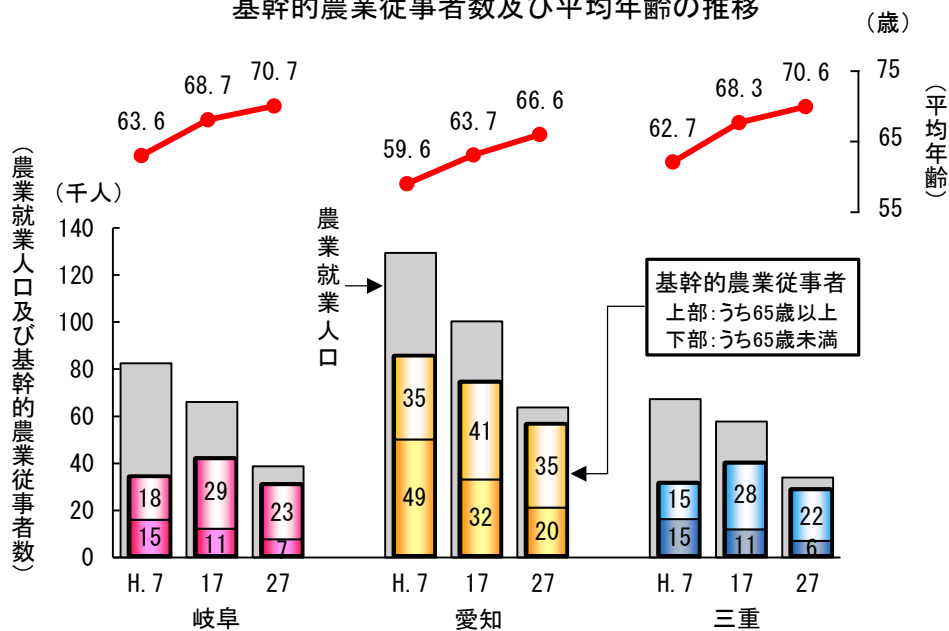
## 基幹的農業従事者数は農業就業人口に比べ緩やかに減少

基幹的農業従事者数を平成7年から20年間でみると、岐阜県で3,327人（10.1%）減少し2万9,687人、愛知県で2万8,956人（34.4%）減少し5万5,332人、三重県で2,683人（8.9%）減少し2万7,556人となっていますが、農業就業人口と比べ減少率は小さくなっており、農業就業人口に占める基幹的農業従事者数の割合が高くなっています。

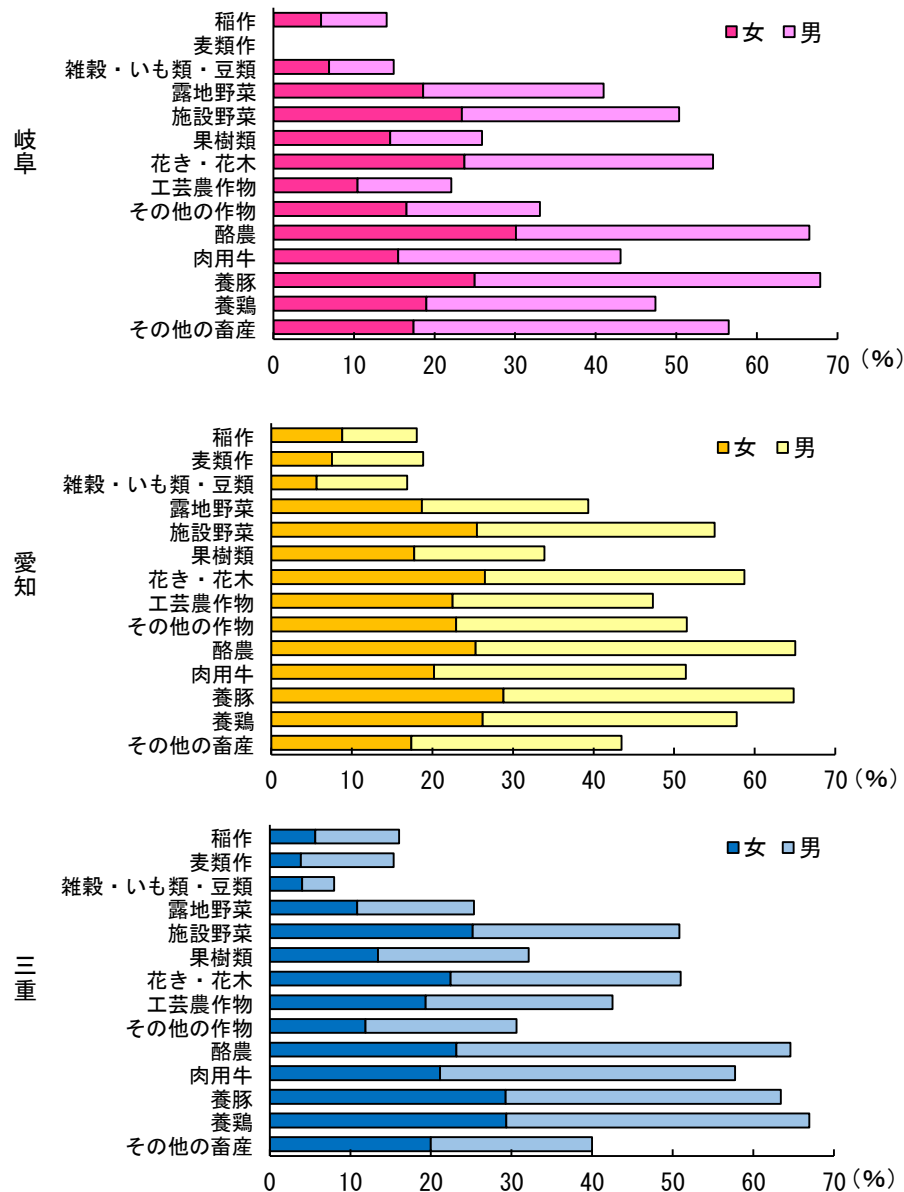
同様に平均年齢を20年間でみると、岐阜県で7.1歳、愛知県で7.0歳、三重県で7.9歳上昇していますが、農業就業人口の平均年齢と比べ緩やかに上昇しています。

単一経営における基幹的農業従事者数のうち65歳未満がいる割合を部門別にみると、3県ともに畜産、花き・花木及び施設野菜部門が高い割合となっています。また、全部門とも女性は4～5割を占めています。

基幹的農業従事者数及び平均年齢の推移



単一経営における基幹的農業従事者数のうち65歳未満の割合（平成27年）



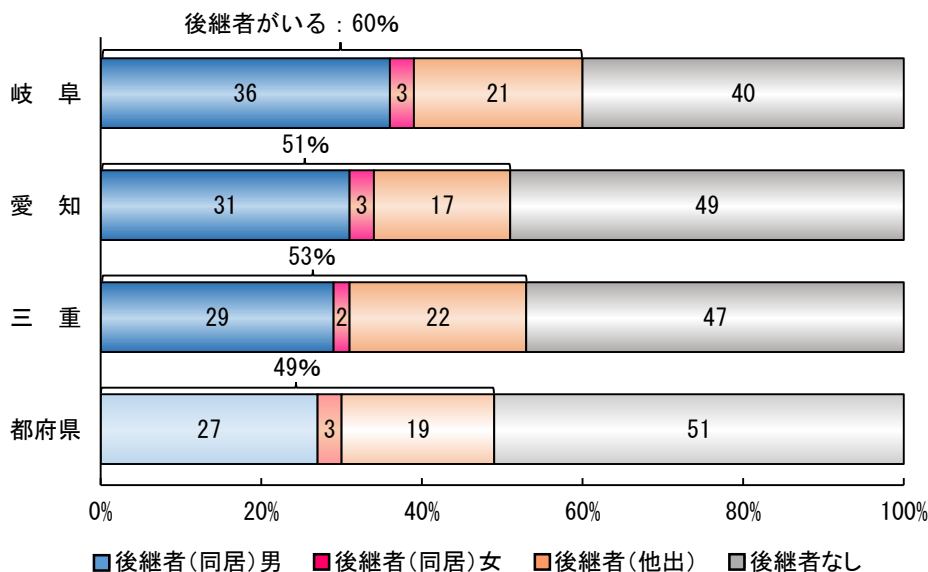
# 農業後継者がいる割合をみると…

## 東海3県は農業後継者がいる割合が高い

東海3県の農業後継者がいる販売農家数をみると、都府県に比べて後継者がいる割合が高く、特に岐阜県は、他出している後継者を含めると60%を占めています。

また、同居している後継者をみると、岐阜県が39%と最も高く、愛知県は34%、三重県では31%となっており、男女別にみると、各県とも男性が大半を占め、女性の後継者は1割未満となっています。

農業後継者がいる販売農家数の割合（平成27年）



### お問い合わせ先

東海農政局 統計部 経営・構造統計課  
 電話：(052) 763-4731  
 FAX：(052) 763-4709

## ココに注目！



### 女性は積極的に農業経営に関わっています

— 愛知は5割、岐阜は4割、三重は3割以上が参画 —

2015年農林業センサスでは、新たな設問「農業経営主とともに経営方針の決定に関わっている」を追加し、調査を行いました。

その結果をみると、女性が経営者である割合は1割にも達していませんが、経営方針の決定には、販売農家において3割を超える女性が関わっていることが明らかになりました。

特に愛知県では、経営者、参画者を合わせた割合が5割を超え、経営方針に関わっている女性の割合が高くなっています。

経営方針の決定に関わっている経営者等の状況別販売農家数の割合（平成27年）

